

# 英文監査報告書の実務

～英文の報告書の標準文例と指摘・改善提案の事例、  
知っておきたいビジネス英語

「内部監査実務マスター・コース」〔第7回開催分（全9会合）〕

- 日 時 ● 2019年3月7日（木）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

20年近く会計監査に従事した大手監査法人では監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動（国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他）にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査等に特化し、アンダーセン消滅後はPwC（中央青山監査法人）で活動した後、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人（E&Y）で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS（不正対策・係争サポート）部長等を歴任し、2012年、シニアパートナーを早期退任して、ボルボ・グループで日本の内部監査統括および同グループ会社UDトラックス㈱の監査役に就任。現在も監査役業務の他に藤井範彰公認会計士事務所として監査や不正関連の講演や研修及び執筆活動を続けている。最近の著書「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」（同文館出版2016年）で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会2012年、論文「内部監査のアシユアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

## ●プログラム●

### ■講義／ 英文監査報告書の実務<14:00-16:30>

海外監査を完結させるのは監査人が自ら書いた英文レポートです。たびたび海外の監査に出かけていても英語で監査報告書を書くのは自信が持てない内部監査人は少なくなく、報告書作成の外部委託も見られます。その背景には参考となる事例や文献が少なく実務研修の機会がないなどの事情があります。英文報告書は海外監査に残された最後の課題のようでもありますが、英文も含めて報告書の作成までが内部監査人の仕事です。

そこで今回は英文内部監査報告書の様式例や指摘・改善提案の事例を特に国内では見かけない指摘事例を交えて、留意点を説明いたします。また監査プロフェッショナルとして知っておきたい内部統制や監査に使う英語表現およびビジネス英語の流儀あるいは日本人が間違いやすい英文法など時間の許す限り紹介します。

#### 1. 英文内部監査報告書の様式と標準文例

- ・英文監査報告書の書式、構成および記載項目の考え方

#### 2. 指摘事項、改善提案の英文事例の検討

- ・指摘・改善提案の英文事例によるロジックと文章表現

#### 3. 監査プロフェッショナルとして知っておきたいビジネス英語の流儀

- ・内部統制や監査に使う英語表現、日本人が間違いやすい英語、監査人が留意すべきビジネス英語など

### ■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント<16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

## ●参加要領●

### ●受講料：1名（資料代含む）

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

\* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。  
http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

### ●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951

180188	2019 3/7 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			